

学長選考会議議事要録

1. 日 時 平成18年6月30日（金） 14:00～15:15
2. 場 所 弘前大学事務局2階 特別会議室
3. 出席者 丹野（議長）、石戸谷、岡井、小田切、櫛引、佐藤、吉田、小川、須藤、加藤の各委員
欠席者 南條、藁科の各委員
事務局陪席 渡邊総務部長、三浦総務課長

- ◎ 議長から、前回会議（5月29日開催）の議事要録（案）について確認され、異議なく了承された。
- ◎ 議長から、本会議に理事4名が構成員として参画していることが問題点としてあげられていたが、本会議で理事4名を構成員にした時の経緯やこれまでの意見交換から、引き続き理事4名を本会議の構成員とすることを確認したい旨の発言があり、異議なく了承された。

4. 審議事項

議題1 学長候補者選考規程の見直しについて

議長から、本学構成員の意向をどのように把握するかについて意見交換したい旨の発言があった後、次のような意見が出された。

- 推薦制度を取り入れた場合、推薦人の名前を挙げて候補者の応援をするということになると思うが、事務職員の場合は難しいのではないか。
- 学外からの候補者をどの時点で入れるかが問題である。学外からの候補者は、学内では知名度が低いことが考えられるため、学内の意向を調査したとしても不利になるのではないか。
- 現行の第1次学内意向選挙は、無記名で投票させており、事実上の推薦制度と同じだと思われる。
- 本会議で何らかの形で候補者を挙げて、その後に投票してもらうという方法も考えられるのではないか。
- 非常に合理的な方法だと思うが、これまでの本学での学長選挙を考えると、その方法が機能するのか、また馴染むのかは疑問である。
- 第1次学内意向選挙が事実上の学内からの推薦制であるという前提に立てば、第1次選考の際に第1次学内意向選挙で推薦された候補者以外に本会議がこれとは思う候補者を加えても、結果的に第2次学内意向選挙に問うことになるので、学内の意向は反映させることになると思う。ただし、第1次学内意向選挙で推薦された候補者以外の候補者の場合は、その資格はそれなりに厳しいものにならざるを得ない。
- 本会議の自由度や権限を確保するというのであれば、現在の第1次学内意向

選挙の性格は変えない方がよいのではないか。

- 前回の第1次学内意向選挙は、本学の構成員の意向が反映されていると思う。ただし、今のままだと学外からの候補者が入る余地はないとも感じられたので、学外からの候補者を入れるプロセスを加えていくことは必要である。
- 学長候補者選考規程の第6条第1項を「学長選考会議は、学長候補者の選考に当たり、本学構成員の意向を把握するため、投票を行う。」としてはどうか。
- 本会議が、学外からの候補者を推薦することができる旨の規定を加えてはどうか。
- 選挙という言葉が誤解を与えていることから、選挙という言葉は使わずに、「本学構成員の意向を調査するために、投票を行う。」にしてはどうか。また、自薦、他薦に限らず立ち会い演説会（意思表示）の機会を設けてはどうか。そのことにより学外からの候補者についても投票資格者に知ってもらえるのではないか。
- 立ち会い演説会（意思表示）の機会を設けるのは必要だと思うが、その機会は、第1次選考で候補者を絞った後の第2次投票の前になると思う。
- 第1次投票の結果を受けて第1次選考をした際に、学外からの候補者がいない場合、本会議が学外からの候補者を推薦することができるとしてはどうか。
- 立場的に中立であるべき本会議が学外からの候補者を推薦するというのは如何なものか。本会議が公正だと思っても外部からはそのように見てもらえない懸念もある。
- あくまでも本会議が学外からの候補者を推薦することができるということであって必ず推薦しなければならないということではない。このような規定がなければ学外からの候補者が学長になるという道は閉ざされることになる。
- 最終的に学長候補者は本会議が決めるという権限はあるが、第2次投票の結果、大きな差があった投票数を逆転して本会議が選考するというのは考えられないのではないか。

続いて、議長から、本日の議論を次のようにまとめ、次回の会議でさらに問題点がないか整理の上、提案したい旨の発言があり、異議なく了承された。

- 本学構成員の意向を調査（把握）するため、第1次投票を行う。
- 本会議は、第1次投票の結果を踏まえて、学外の候補者を第1次学長候補者として加えることができる。
- 第2次投票の前に、第1次学長候補者の立ち会い演説会（意向表明）の機会を設ける。
- 本会議は、第1次学長候補者を対象として第2次投票を行い、最終的な学長候補者を決定する。

議題2 その他

議長から、本会議は、経営協議会及び教育研究評議会から選出された委員各4名と理事4名で構成されているので、本会議の議事内容は公式ホームページでの公開のみとし、学部の教授会等での報告はしないことにしたい旨の提案があり、異議なく了承された。

6. 次回の開催について

議長から、次回の開催時期については、7月の各委員の日程を調整した上で開催したい旨の発言があり、異議なく了承された。

以 上